

10月17日土曜日、川崎市庁舎にてアメリカのスタンフォード大学と川崎市の、川崎市子ども・若者応援基金を活用した「グローバル人材育成事業」の先行事業の一つ「Stanford e-Kawasaki」の開校式が行われました。本校10名と川崎市立橋高等学校の10名が参加し、福田市長からこのプログラムの展望を伺い、緊張の面持ちでスタートしました。初回のこの日は、スタンフォード大学ゲイリー・ムカイ教授とzoomを介して講義を聴き、英語でのショートディスカッションが展開されました。これからは月に一度、アメリカの時間に沿ってzoomでディスカッションを行い、最終的には各自設定したテーマのプレゼンテーションと論文の提出が要求されます。昨年度も本校の生徒は積極的に参加し、彼らはその経験を生かし進路実現に向け頑張っています。今年度の参加者にも大いに期待したいです！

(文責・外山)



### Only What You Can Carry

- In small "family" groups, think of your situation today. You have two weeks to decide what you would do about your schooling and possessions.
- As a "family," discuss what you would take to an unknown destination. You can only take what you can carry.
- Select a "family" reporter to share five things that you would bring.
- Time limit: 5 minutes.